

無明の橋

この橋の名前の無明、サンスクリット語の「Avidyā」とは、一般的に仏教においての無知と解釈されます。この橋の裏には、仏陀が須菩提に無自性について説いている仏教の古い経典である金剛経が刻んであります。そのため、この橋を渡ると死後、阿弥陀浄土での生まれ変わりに向かって、一切の罪障が消失すると伝えられています。